

厳し美しい里 だより



発行者：厳し美しい里協議会
(会長 小岩次男)
(事務局)
〒021-0101
一関市厳美町字沖野々116-6
一関市厳美市民センター内 鈴木
TEL29-2205 FAX29-2251

Genbicc.jp



令和5年3月1日発行 第9号

伝統的な保存食 「豆餅」づくり講習会を開催します

伝統的な餅の料理が伝わる「もちのまち」一関ですが、各家庭で餅をつくる機会が減り、もち食文化の継承が危ぶまれています。

そこで、餅料理のベテランである厳美地域のお母さんから「豆餅」の作り方を教わり、郷土料理の伝承につなげたいと思います。

講習会にご参加いただき、昔懐かしい手作りのおやつ「豆餅」をご家族の皆さんやご近所さんへ振舞ってみてはいかがでしょうか。

【豆餅づくり講習会】

日時：令和5年3月16日(木)10時～14時

場所：厳美市民センター達古袋分館 調理室

参加費：1,000円(材料費)

持ち物：エプロン、三角巾、筆記用具

その他：昼食も作ります。(お弁当不要)

定員：先着10名(3/10締切り)

対象：成人男女



イメージ写真



県立一関工業高校3年生 「技術・知識を地域につなげる プロジェクト」成果発表



プロジェクト班：小野寺君、佐藤君、佐藤君

2月5日(土)ユードームにて、一関工業高校さんによる「地域貢献プロジェクト」の成果発表会が行われました。

今年度は、昨年の3年生が山谷分館に開設した震災資料展示室の充実化を図ることを目的に、活動していただきました。

岩手宮城内陸地震のメカニズムの学習、被災地踏査や地域住民との交流、山谷の地質調査の見学、ドローンによる空撮、旧祭時大橋の模型の制作、FM アスモへの出演、ベンチの寄贈等、様々な活動を行っていただきました。

また、当協議会で3年前に視察を行った新潟県長岡市と、オンラインによる地震被災地情報交換会を開催し、震災の教訓を後世に伝える大切さをあらためて確認していただきました。

土木科3年生の皆さん、厳美地域の課題解決へ向けての取り組み、ありがとうございました。

～厳美「ひかりの森」惜しまれながら終了～

昨年12月10日から市博物館と若神子亭で開催していた、厳美「ひかりの森」は1月28日で終了となりました。イルミネーションの設置、撤去作業に関わっていただいた厳美小、中学生をはじめ、地域の皆様、制作委員会の皆様、寒い中足をお運びいただいた皆様、ありがとうございました。来年度の厳美「ひかりの森」をご期待ください。

一関工業高校土木科 3 年生の皆さん 一年間ありがとうございました



先輩の功績を目の当たりに



震災遺構旧祭時大橋の見学



地域住民との交流



佐藤さんから当時の様子を伺う



熊谷さんから震災の様子を伺う



産女川上流 治山工事の見学



市野々原の見学



地質調査の見学



長岡市とのオンライン情報交流会



ベンチテーブルを若神子亭へ



先輩が作った模型を参考に



一関工業高校文化祭の様子

巖美地域ナラ枯れ被害拡大防止研修会 開催

2月17日に巖美市民センターにおいて開催された「ナラ枯れ被害拡大防止研修会」では、一関農林振興センター林業普及指導員の金澤さんより、ナラ枯れのメカニズム、巖美地域の被害状況、拡大防止策などについてお話し頂きました。巖美地域は被害が拡大しつつあり、早めの対策が必要とのことでした。お盆過ぎ頃に葉が変色しているミズナラやコナラ等のブナ科コナラ属の樹木はナラ枯れの可能性が高いとのことなので、葉に異常が見られるミズナラ等を見かけた場合は、農林振興センター(26-1893)か市農地林務課(21-8438)へご一報ください。